

- 問1 ある地域の人口移動について、昼間人口比率が100%を下回っている奈良県や兵庫県と、100%を超えている大阪府との関係を説明したものとして、正しい記述を選びなさい。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 大阪府の昼間人口が多いのは、主に港湾施設での物流作業に従事する人々が周辺府県から集まるためである。
 2. 大阪府は、奈良県や兵庫県に住む高齢者が医療や福祉サービスを受けるために昼間のみ移動してくる都市である。
 3. 鉄道網の整備により、大阪府から周辺の府県へ通勤・通学する流れが、流入する流れを上回っている。
 4. 奈良県や兵庫県は、大阪府へ労働力や学生を送り出す「ベッドタウン」としての役割を果たしている。
- 問2 滋賀県の中央部に位置する、日本最大の面積を持つ湖と、その周囲を囲む山地との間に広がる平坦な盆地の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
1. 中海と松江盆地
 2. 穴道湖と出雲平野
 3. 霞ヶ浦と関東平野
 4. 琵琶湖と近江盆地
- 問3 2018年の統計において、野菜の産出額が約150億円に達し、米の約73億円や果実の約67億円を大きく上回っている都道府県があります。このように、大消費地である都市の周辺で、鮮度が重要視される野菜などを中心に生産する農業の形態を何と呼びますか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 抑制栽培
 2. 促成栽培
 3. 施設園芸農業
 4. 都市近郊農業
- 問4 近畿地方に位置する京都府の地理的な特徴について、隣接する府県の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 岡山県・和歌山県・石川県
 2. 鳥取県・香川県・愛知県
 3. 徳島県・広島県・岐阜県
 4. 兵庫県・大阪府・福井県
- 問5 和歌山県では農業産出額に占める果実の割合が非常に高いですが、このように果樹栽培が盛んになった地理的な背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 兵庫県公立入試 類似)
1. 冬の積雪量が多く、その雪解け水を活用した灌漑設備が整っているため。
 2. 黒潮の影響を受けた温暖な気候であり、水はけが良い傾斜地が多く存在するため。
 3. 都市近郊に位置しているため、輸送園芸農業として野菜の施設栽培が発達したため。
 4. 広大な平野を活用し、大型機械を用いた大規模な土地利用型農業が行われているため。
- 問6 人口密度、昼夜間人口比率、産業別生産額などを比較した資料において、大阪府に該当する地域の特徴を述べたものとして正しいものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 人口密度が高く、昼夜間人口比率が100%を超えており、昼間の人口が夜間の人口を上回っている。
 2. 人口密度が低く、農業・漁業の生産量が他地域に比べて極めて高い傾向にある。
 3. 昼夜間人口比率がちょうど100%であり、地域内での労働力と居住者のバランスが完全に一致している。
 4. 人口密度は高いものの、昼夜間人口比率は100%を下回っており、多くの住民が府外へ通勤している。
- 問7 神戸市で行われた大規模な都市開発の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
1. 山間部の森林を切り開いて段々畑を作り、傾斜地を利用した果樹栽培専用の地域を形成した
 2. 河川の下流に広がる三角州を大規模に改良し、地盤をかさ上げして工業用地として利用した
 3. 内陸の丘陵地を削ってニュータウンを造成し、その土砂を用いて沿岸部を埋め立てて人工島を造成した
 4. 沿岸部の遠浅の海を堤防で締め切り、内部の水を排水する干拓によって広大な農地を造成した
- 問8 近畿地方の内陸部に広がる京都盆地に位置し、「古都」と称される都市について、その特性を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
1. 広大な平野を活用した近郊農業が盛んで、キャベツやレタスなどの野菜を大消費地へ供給する農業都市である。
 2. 瀬戸内海に面した港湾都市であり、古くから貿易の拠点や、重化学工業が盛んな工業都市として発展してきた。
 3. 古くから「天下の台所」と呼ばれ、現在は西日本最大の商業・経済の中心地として高層ビルが立ち並んでいる。
 4. 歴史的な社寺をはじめとする多くの文化財が残り、国内外から多くの観光客が訪れる観光都市としての性格が強い。
- 問9 大阪市などが位置する地域では、季節風が周囲の山地によって遮られる地形的要因により、年間を通じて温暖で降水量が少なく、夏には「大阪の蒸し暑さ」と表現されるほどの高温になります。このような特徴を持つ気候区分として最も適切な名称はどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 中央高地の気候
 2. 太平洋側の気候
 3. 日本海側の気候
 4. 瀬戸内式の気候
- 問10 琵琶湖における赤潮の発生日数は、1970年代後半のピーク時と比較して、2000年代以降は数日程度にまで大幅に減少しました。この変化をもたらした主な社会的・制度的要因として最も適切なものはどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 滋賀県内における下水道普及率の上昇や、環境配慮型農業の推進
 2. 琵琶湖の面積を拡大するための干拓事業の停止と自然保護区の指定
 3. 高度経済成長期に建設された大規模ダムによる、湖水の流入量制限
 4. 琵琶湖周辺における製造業の工場の全面撤退と、観光地化への転換
- 問11 近畿地方の府県の位置関係と交通網の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。滋賀県、京都府、大阪府のつながりに着目して選びなさい。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 京都府は滋賀県と兵庫県の間に位置しており、東海道新幹線を利用することでこれら3つの府県を順番に移動することができる。
 2. 東海道新幹線は滋賀県から京都府を経て大阪府へと通っており、京都駅はその全列車が停車する主要な駅となっている。
 3. 東海道新幹線は滋賀県から奈良県を経て大阪府へと通っており、歴史的な建造物が多い地域を東西に貫いている。
 4. 滋賀県と大阪府の間に位置する京都府には、東海道新幹線の駅は存在しないが、在来線や私鉄による移動が非常に盛んである。
- 問12 近畿地方において、大阪府へ向けて周辺の各府県から多くの人々が移動する現象が起きている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 近畿地方の全ての府県の中で、大阪府だけが唯一、大規模な工業地帯や商業施設を有しているため。
 2. 奈良県や滋賀県からの流入人口を増やすために、大阪府内の全ての公共交通機関の運賃が無料化されているため。
 3. 大阪府が近畿地方の経済や交通の結節点であり、周辺の広い範囲が通勤・通学圏（大阪圏）となっているため。
 4. 京都府や兵庫県には大学や企業がほとんど存在せず、教育や雇用の機会が大阪府にのみ集中しているため。
- 問13 京都府と他の府県との位置関係を説明した文として、正しいものはどれですか。京都府を中心に、周囲を兵庫県、大阪府、福井県、滋賀県、奈良県、三重県が取り囲んでいる状況を踏まえて答えなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 京都府の北側には兵庫県が、西側には大阪府が、そして南東側には福井県がそれぞれ隣接している。
 2. 京都府の西側には兵庫県が、南側には大阪府が、そして北東側には福井県がそれぞれ隣接している。
 3. 京都府の東側には兵庫県が、北側には大阪府が、そして南西側には福井県がそれぞれ隣接している。
 4. 京都府の南側には兵庫県が、東側には大阪府が、北西側には福井県がそれぞれ隣接している。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 奈良県や兵庫県は、大阪府へ労働力や学生を送り出す「ベッドタウン」としての役割を果たしている。	昼間人口比率が100%を下回るということは、その地域に住んでいる人が昼間は他の地域へ流出していることを意味します。奈良県（89.8%）や兵庫県（95.6%）は、鉄道を利用して大阪府内の企業や学校へ通う人々の居住地となっており、このような地域は「ベッドタウン」と呼ばれます。大阪府が104.5%という高い数値を示すのは、これら周辺の「ベッドタウン」から鉄道網を通じて多くの通勤・通学者を受け入れているためです。
問2	答え 4 琵琶湖と近江盆地	滋賀県は周囲を鈴鹿山脈や比良山地などの高い山々に囲まれており、その中央に位置する琵琶湖の周辺には近江盆地が広がっています。琵琶湖は県全体の面積の約6分の1を占め、この水系を中心とした独特の地形景観が形成されています。
問3	答え 4 都市近郊農業	大都市の周辺で、輸送コストを抑えつつ新鮮な農産物を供給する農業を都市近郊農業と呼びます。大阪府などの大都市圏では、限られた農地を有効活用し、市場の需要が高い野菜を重点的に生産する傾向があります。
問4	答え 4 兵庫県・大阪府・福井県	京都府は南北に長い形状をしており、周囲を多くの自治体に囲まれています。具体的には、西側で兵庫県と接し、南側では大阪府や奈良県と境界を形成しています。さらに、北東部では近畿地方の外側にあたる北陸地方の福井県とも隣接しており、古くから北陸と近畿を結ぶ交通の要所となってきました。滋賀県や三重県とも境界を接していますが、選択肢の中で示された3つの府県はすべて京都府と直接隣接しています。
問5	答え 2 黒潮の影響を受けた温暖な気候であり、水はけが良い傾斜地が多く存在するため。	和歌山県は黒潮が流れる太平洋に面しており、年間を通じて温暖な気候に恵まれています。また、県域の多くを山地が占めており、果樹栽培に適した「日当たり」と「水はけ」の条件を満たす傾斜地が多いため、古くからみかんや梅などの果樹園が斜面に作られてきました。これに対し、広大な平野は北海道、雪解け水の活用は北陸地方、輸送圏芸による野菜栽培は宮崎県や高知県などの特徴です。
問6	答え 1 人口密度が高く、昼夜間人口比率が100%を超えており、昼間の人口が夜間の人口を上回っている。	大阪府のような大都市では、オフィスビルや官公庁、大学などが集中する「中心業務地区」としての機能を持っています。人口密度が1平方キロメートルあたり500人を超える過密状態でありながら、さらに昼間には周辺のベッドタウンから労働力や学生が流入するため、昼夜間人口比率は必ず100%を超えます。これに対し、周辺の住宅都市（ベッドタウン）では、夜間人口の方が多くなるため比率は100%を下回るのが一般的です。
問7	答え 3 内陸の丘陵地を削ってニュータウンを造成し、その土砂を用いて沿岸部を埋め立てて人工島を造成した	神戸市は背後に六甲山地が迫り平地に限られているため、内陸部の丘陵地を切り開いて住宅地（ニュータウン）を確保しました。さらに、その工事で発生した大量の土砂をベルトコンベアなどで海へ運び、ポートアイランドや六甲アイランドなどの人工島を造成する埋め立てに利用しました。干拓は、有明海や八郎潟などで見られる、水を抜いて陸地化する手法であり、土砂を投入する埋め立てとは異なります。
問8	答え 4 歴史的な社寺をはじめとする多くの文化財が残り、国内外から多くの観光客が訪れる観光都市としての性格が強い。	京都市は京都盆地に位置し、平安京が置かれて以来の長い歴史を持つことから「古都」と呼ばれます。市内には数多くの歴史的な寺院や神社、文化財が点在しており、それらを目当てに世界中から観光客が訪れるのが大きな特徴です。他の選択肢にある「商業・経済の中心地」は大阪市、「港湾都市・工業都市」は神戸市などの特徴を指します。
問9	答え 4 瀬戸内式の気候	瀬戸内地方に位置する大阪市は、北側の中国山地と南側の四国山地に挟まれているため、夏と冬の季節風が運んでくる湿った空気が遮られ、年間降水量が比較的少なくなる「瀬戸内式の気候」に属します。また、夏は地形の影響で風が弱まりやすく、都市化によるヒートアイランド現象も相まって、非常に高温で蒸し暑い気候となるのが特徴です。
問10	答え 1 滋賀県内における下水道普及率の上昇や、環境配慮型農業の推進	赤潮の原因となる富栄養化を防ぐため、滋賀県では下水道の整備が急速に進められました。これにより、家庭からの汚水が直接湖に流れ込むことが抑制されました。また、化学肥料や農薬の使用を抑える環境配慮型農業（環境こだわり農業）の普及も、湖水の水質改善に大きく貢献しています。統計資料でも、下水道普及率の上昇と反比例するように赤潮の発生日数が減少していることが示されています。
問11	答え 2 東海道新幹線は滋賀県から京都府を経て大阪府へと通っており、京都駅はその全列車が停車する主要な駅となっている。	東海道新幹線のルートを地理的に把握すると、滋賀県（米原駅）の次に京都府（京都駅）、その次に大阪府（新大阪駅）という順序でつながっています。京都府は内陸の滋賀県と、大阪湾に面する大阪府の間に位置し、交通の要所としての役割を果たしています。奈良県や兵庫県も近畿地方に属しますが、東海道新幹線の滋賀・大阪間という条件には当てはまりません。
問12	答え 3 大阪府が近畿地方の経済や交通の結節点であり、周辺の広い範囲が通勤・通学圏（大阪圏）となっているため。	大阪府は、古くから「天下の台所」と呼ばれるなど商業が盛んであり、現在も近畿地方における経済・情報の中心地です。大阪市を中心に鉄道や道路網が放射状に整備されているため、京都府や兵庫県、奈良県といった近隣の県から比較的容易にアクセスでき、広大な都市圏（京阪神大都市圏）を形成しています。このため、周辺地域で生活し、大阪府内で働く・学ぶというスタイルが一般的になり、拠点性が高まりました。
問13	答え 2 京都府の西側には兵庫県が、南側には大阪府が、そして北東側には福井県がそれぞれ隣接している。	京都府の境界線を確認すると、西側の丹波・丹後地方は兵庫県と長く接しており、南側の山城地方は経済的な結びつきが強い大阪府と接しています。また、日本海に面した北部地域では、東側に向かって福井県嶺南地方と隣り合っています。このように京都府は、近畿地方内部の府県だけでなく、北陸地方の福井県とも境界を接している点が地理的な大きな特徴です。